

GA331

言語文化演習－国際文学論－

リービ 英雄

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本文学の国際化を代表する作家とともに、日本文学と外国文学を両方読む。それぞれの国、それぞれの言語、それぞれの時代にとって、真に新しい表現は何なのか、追求する。

越境、マイノリティ、ポストコロニアル、バイリンガル、紀行文学などを、情熱的に読み、楽しく話し合う。文学を専門にしない学生を歓迎する。SAにおいて異言語に身をさらした、その体験を活かし、現代にとって書き言葉の表現の最先端はどこにあるかを問う。

【到達目標】

日本と世界の一流の文学表現にふれて、理解する。

【授業の進め方と方法】

テキストを読んで、それについて学生が発表をする。

ゼミナール形式を中心に授業を行う。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
第1回	ゼミナールについて	イントロダクション
第2回	越境とバイリンガル①	書くべきことがあるのか
第3回	越境とバイリンガル②	発表①
第4回	越境とバイリンガル③	発表②
第5回	越境とバイリンガル④	発表③
第6回	マイノリティの表現①	発表①
第7回	マイノリティの表現②	発表②
第8回	マイノリティの表現③	発表③
第9回	世界の中の日本文化の表現①	発表①
第10回	世界の中の日本文化の表現②	発表②
第11回	世界の中の日本文化の表現③	発表③
第12回	島国と大陸の表現①	発表①
第13回	島国と大陸の表現②	発表②
第14回	島国と大陸の表現③	発表③
第15回	結論	日本語と世界文学について

秋学期

回	テーマ	内容
第1回	ゼミナールについて	イントロダクション
第2回	世界の新しい文学①	発表①
第3回	世界の新しい文学②	発表②
第4回	世界の新しい文学③	発表③
第5回	世界の新しい文学④	発表④
第6回	日本文学における「新しさ」①	発表①
第7回	日本文学における「新しさ」②	発表②
第8回	日本文学における「新しさ」③	発表③
第9回	ボーダーを越えた新しい表現①	発表①
第10回	ボーダーを越えた新しい表現②	発表②
第11回	ボーダーを越えた新しい表現③	発表③
第12回	日本の中で「世界文学」を読む①	発表①

第13回 日本の中で「世界文学」を読む② 発表②

第14回 新しい表現とは何か 発表

第15回 結論 文学の「新しさ」と「古さ」

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

関連書を読むこと

【テキスト（教科書）】

二十世紀後半から現代までの日本と、主に英米の小説（たとえばメイラー、大江健三郎、三島由紀夫、ボールドウィン、中上健次、トニー・モリソン、在日朝鮮文学、ポスト・コロニアルの小説）。常に「時代」を切り開く文学を選ぶ。短い作品を原文で読んで、長い作品を日本語の翻訳文で読むこともある。

【参考書】

多和田葉子「エクソフォニー」

安部公房「砂の女」

リービ英雄「日本語を書く部屋」

【成績評価の方法と基準】

毎回の発表（50%）、および参加（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

学生は全員満足しているようです。

管理 ID：
1705248
授業コード：
C1124